

陳 情 文 書 表

(保健福祉局)

受 理 番 号	1 9 0 7	受 理 年 月 日	令 和 6 年 5 月 2 8 日
件 名	ひと・まち交流館京都の利用料の見直し		
要 旨	<p>私は京都市民である。醍醐に住み、毎月1回は、ひと・まち交流館京都の会議室を利用させてもらい、非常に助かっている。10年近くになる。利用料が安くて便利だからである。</p> <p>しかし、京都市の財政が苦しくなっている事情から、高額の値段になっている。土日によく使っている。午後の部を利用している。現在、会議室とマイク代、プロジェクター代で約6,580円掛かる。それと、講師料が、平均1万円掛かる。合計1万6,580円である。私たちのグループは、財政的に1万から2万円しかない。講演会では、様々な社会問題を取り上げ市民に喜んでもらっている。利用料が安かった時期でも、やっと運営できた。今、陳情したいのは、以前の利用料に戻してもらいたい一言に尽きる。</p> <p>スタッフの一人から、毎度1万円カンパとして出してもらって、やっと運営が成り立っている。厚生年金からの1万円は大変である。苦しんでいる。前市長とクラスメートである。上げてばかり、福祉予算は削られ、利用者の方々も年配者が多くて利用料が賄えない。学生の利用者(たまに来てはいる)は参加費無料である。生活が苦しい人には割り引く。100円か200円である。合計でもやっと5,000円ぐらいである。今回非常に迷惑しているのは、この地域に貢献している団体とか、どういう団体かを選別しているような文言が見受けられることである。</p> <p>一般市民が、色々なことをやっている。お金の豊かなグループ、そうではないグループがあり、会費を聞くことで、差別化を図っているようで仕方ない。是非、いろんな市民グループが気軽に利用できるように、元に戻すことを切に望む。「ひと・まち」の名に恥じるようなことはほしくないでほしい。</p> <p>醍醐いきいきセンターも利用料が5倍である。地元のお年寄りの憩いの場である場所を奪わないでほしい。年寄りが、家に孤立するようでは駄目である。どうか、市民に、特に弱者に優しい京都であってほしい。</p> <p>ついては、ひと・まち交流館京都の利用料を元に戻すことを願う。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	環 境 福 祉 委 員 会		